サイレンススズカ（弁護□ 伊須□慎一郎）

第９０回日本ダービーは、２番人気のスキルヴィングが、本来の走りを見せることなく、１７着で入選後、コース上で倒れ、急性心不全で亡くなった。

１９９８年秋の天皇賞で、左前脚の粉砕骨折でレースを中止し、その後、安楽死の処置が取られたサイレンススズカを思い出した。記憶だと、あの時、武豊騎手が騎乗したサイレンススズカは、外ラチ沿いを鬼気迫る返し馬をしていた。これから大変なことが起きるのではないかと感じた。１０００メートル通過、５７秒台。このまま、このスピードで走り切れば、２０００メートル１分５５秒台、とんでもない記録になる。本当にとんでもないことが起こると思った刹那、サイレンススズカはレースを中止した。武豊騎手が、あと数百メートル走らせたかったと回顧した。サラブレットにとってわずか数十秒が永遠の彼方にあった。サラブレットの限界を超えた走りだった。

サラブレットは速く走るために産み出された。サイレンススズカも、スキルヴィングも使命を全うした。
忙しさにかまけて、私は使命を全うできているのか。ふと考えた。

弁護士伊須□慎一郎□